

えすぽあ

Espoir (エスポアール)=希望

NO.45
2013.3

「男女がともにさんさんと輝けるまち つやま」の実現をめざして…

えすぽあ Interview

会社全体が「大きな家族」に

共和機械株式会社 (河面)

仕事と家庭の両立について、社員のニーズを踏まえ、働きやすい職場環境づくりを進めている共和機械株式会社。平成21年におかやま子育て応援宣言企業に登録し、岡山県知事賞を受賞。平成22年には次世代認定マーク(くるみん)を取得されています。

代表取締役社長の友末琢磨さんと社員の本郷奈緒子さんに、両立支援の取り組みとその効果についてお話を伺いました。

：…取り組みを始めたきっかけは？

友末 当社は卵の自動処理機という特殊な産業機械の製造と販売を手掛けています。多くの卵の生産者において365日休みは無く、したがってその処理を任される機械のメンテナンスも365日ベースで対応できる体制をつくる必要があります。そのため、働くときには働く、休むときはしっかりと休んでもらえるよう、もともと特別休暇などは充実していました。おかやま子育て応援宣言企業の登録にあたり、社内規定を見直したところ、ガイドラインとさほど差がなく、無理なく導入できると思いました。

：…法律を超える複数の制度も設けら



友末琢磨社長

庭も大切にできる環境を整えていきたいと思っています。

そうしたことから今回の取り組みでは、配偶者が出産予定の男性社員に、子育て参加を促すため、「男性の子育て参加計画書」を提出してもらいました。

：…取り組みの効果は？

友末 元々充実している社内規定をフォローアップできたこと。それと、子育て世代への理解が深まり、社内において互いに協力し合う雰囲気は自然と生まれたことです。制度を利用している社員の仕事

を他の複

数の社員

で補うこ

とで、連

帯感も強

まったと



本郷奈緒子さん

れていますね。

友末 専

門性の高

い技術や

経験を重

ねた社員

が、長く

安心して

勤められ

るよう、

仕事も家

感じています。制度を整えることはもちろんですが、何よりも周りの理解があるかどうかが一番大きいですからね。本郷 わたしは平成23年9月に第2子を出産し、1年間の育児休暇を取った後、仕事に復帰しました。心配もありましたが、もといた部署にスムーズに復帰することができました。制度も遠慮なく使える雰囲気があり、子どもの熱などで急に休まなくてはならなくなっても職場の皆さんが協力してくださるのでとても助かっています。皆さんの理解があるというのは本当にありがたいですね。

：…今後力を入れていきたいことは？

友末 互いに支え合いながら、社員の家族も含め、会社全体が「大きな家族」のようになればと思っています。今後、社員が家族ぐるみで参加するバーベキュー大会などの社内イベントを充実させ、会社と社員が一緒になって成長できるよう、職場環境を整えていきたいと考えています。



次世代認定マーク(くるみん)

仕事と家庭の両立を支援する雇用環境の整備等を盛り込んだ行動計画を策定し、一定の要件を満たすと「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けることができます。このマークを商品、求人広告などにつけることで子育てサポート企業であることを内外にアピールできます。